

専門学校埼玉自動車大学校 ディプロマ・ポリシー（卒業認定に関する方針）

I. 学校法人佐藤栄学園建学の精神「人間是宝」、専門学校埼玉自動車大学校校訓「徳・技・知」の下、ハードとしての自動車を整備できる技術・知識の修得は勿論のこと、人の命を預かる仕事に対する強い意志を持ったプロフェッショナルな人材の育成を目指し、社会で活躍できる以下の能力を身につけ、学科の基準を満たした者に対して卒業を認定する。

(1) 知識・理解

「自動車」や「ものづくり」に関する専門知識を習得し、それらを活用し知恵に繋げることができる。

(2) 思考・判断

「自動車」や「ものづくり」に関する課題に対しては、安全を第一に考え、論理的、創造的な思考により適切な状況判断ができる。

(3) 関心・意欲

「自動車」や「ものづくり」に関する好奇心が旺盛でかつ向上心を持ち、それらの課題には意欲的、主体的に行動することができる。

(4) 態度

社会人として規律ある行動がとれ、誠実な姿勢で、目標を定めたら諦めず最後までやり抜くことができる。

(5) 技能・表現

「自動車」や「ものづくり」に関する技術を有し、それらを実践できる。また、自分とは違う意見にも素直に耳を傾け、自分の意見を分かり易く伝えることができる。

I-1. 一級自動車整備科の卒業認定に関する方針

学校で定めた卒業認定の要件を受けて、一級自動車整備科が示す以下の知識及び能力を有する者に対して卒業を認定する。

(1) 知識・理解

国家一級自動車整備士として必要な自動車システムに関する専門知識を習得し、それらを自動車の点検、整備、総合判断などのプロセスに活用することができる。

(2) 思考・判断

自動車システム全般において、環境及び安全に配慮し、論理的及び創造的な思考により、正しいプロセスで診断ができる。また、顧客対応を意識した思考、判断をすることができる。

(3) 関心・意欲

自動車テクノロジーの進歩と社会ニーズの変化に常に関心を持ち、新しい知識・技術の習得にチャレンジするなど、向上心を持って意欲的、主体的に行動することができる。

(4) 態度

国家一級自動車整備士としての高い倫理観や責任感を持ち、コンプライアンスを遵守することができる。また、組織活動においては、協調性ある態度で、状況に応じリーダーシップを発揮することができる。

(5) 技能・表現

国家一級自動車整備士として必要な自動車システムに関する整備技術（点検・整

備・総合判断)を有し、それらを安全かつ正しいプロセスで実践できる。また、顧客対応だけではなく、自動車システムの総合判断などに必要なコミュニケーション能力(問診、説明)を身につけている。

I-2. 2年制一級自動車整備科の卒業認定に関する方針

学校で定めた卒業認定の要件を受けて、2年制一級自動車整備科が示す以下の知識及び能力を有する者に対して卒業を認定する。

(1) 知識・理解

国家一級自動車整備士として必要な自動車システムに関する専門知識を習得し、それらを自動車の点検、整備、総合判断などのプロセスに活用することができる。また、四年制大学との併修では情報マネジメントの分野での高度な知識を習得し、それらを自動車整備分野でも活用することができる。

(2) 思考・判断

自動車システム全般において、環境及び安全に配慮し、論理的及び創造的な思考により、正しいプロセスで診断ができる。また、顧客対応を意識した思考、判断をすることができる。

(3) 関心・意欲

自動車テクノロジーの進歩と社会ニーズの変化に常に関心を持ち、新しい知識・技術の習得にチャレンジするなど、向上心を持って意欲的、主体的に行動することができる。

(4) 態度

国家一級自動車整備士としての高い倫理観や責任感を持ち、コンプライアンスを遵守することができる。また、組織活動においては、協調性ある態度で、状況に応じリーダーシップを発揮することができる。

(5) 技能・表現

国家一級自動車整備士として必要な自動車システムに関する整備技術(点検・整備・総合判断)を有し、それらを安全かつ正しいプロセスで実践できる。また、顧客対応だけではなく、自動車システムの総合判断などに必要なコミュニケーション能力(問診、説明)を身につけている。

I-3. 二級自動車整備科の卒業認定に関する方針

学校で定めた卒業認定の要件を受けて、二級自動車整備科が示す以下の知識及び能力を有する者に対して卒業を認定する。

(1) 知識・理解

国家二級自動車整備士として必要な自動車の基本性能(走る・曲がる・止まる)に関する専門知識を習得し、それらを自動車の点検、整備、故障診断などに活用することができる。

(2) 思考・判断

自動車の基本性能を踏まえ、安全に配慮し、論理的な思考により適切な判断ができる。

(3) 関心・意欲

自動車テクノロジーの進歩と社会ニーズの変化に常に関心を持ち、新しい知識・技術の習得にチャレンジするなど、向上心を持って意欲的、主体的に行動するこ

とができる。

(4) 態度

国家二級自動車整備士としての倫理観や責任感を持ち、社会人として規律ある行動がとれる。また、組織活動においては、誠実で協調性のある行動がとれる。

(5) 技能・表現

国家二級自動車整備士として必要な自動車整備技術（点検・整備・故障診断）を有し、それらを安全に実践できる。また、組織や顧客対応に必要なコミュニケーション能力を身につけている。

I－4．総合車体整備科の卒業認定に関する方針

学校で定めた卒業認定の要件を受けて、自動車車体整備科が示す以下の知識及び能力を有する者に対して卒業を認定する。

(1) 知識・理解

自動車の基本性能（走る・曲がる・止まる）に関する専門知識に加え、車体整備に関する専門知識を習得し、それらを自動車の点検・整備・故障診断及び車体整備などに活用することができる。また、四年制大学との併修では情報マネジメントの分野での高度な知識を習得し、それらを自動車整備分野でも活用することができる。

(2) 思考・判断

自動車の基本性能を踏まえ、安全に配慮し、論理的な思考により適切な判断ができる。また、PDCA サイクルのプロセスに沿った効率の良い適切な状況判断ができる。

(3) 関心・意欲

自動車テクノロジーの進歩と社会ニーズの変化に常に関心を持ち、新しい知識・技術の習得にチャレンジするなど、向上心を持って意欲的、主体的に行動することができる。

(4) 態度

自動車整備、車体整備ができる総合整備士として、倫理観や責任感を持ち、社会人として規律ある行動がとれる。また、組織活動においては、チームワークを意識した誠実で協調性のある行動がとれる。

(5) 技能・表現

車体整備士として必要な「ものづくり」に関する技術及び自動車整備士として必要な自動車整備技術（点検・整備・故障診断）を有し、それらを安全に実践できる。また、組織や顧客対応に必要なコミュニケーション能力を身につけている。

I－5．カスタムボディ科の卒業認定に関する方針

学校で定めた卒業認定の要件を受けて、カスタムボディ科が示す以下の知識及び能力を有する者に対して卒業を認定する。

(1) 知識・理解

自動車の基本性能（走る・曲がる・止まる）に関する専門知識に加え、車体整備に関する専門知識を習得し、それらを自動車の点検・整備・故障診断及び車体整備などに活用することができる。

(2) 思考・判断

自動車の基本性能を踏まえ、安全に配慮し、論理的な思考により適切な判断ができる。また、PDCA サイクルのプロセスに沿った効率の良い適切な状況判断ができる。

(3) 関心・意欲

自動車テクノロジーの進歩と社会ニーズの変化に常に関心を持ち、新しい知識・技術の習得にチャレンジするなど、向上心を持って意欲的、主体的に行動することができる。

(4) 態度

自動車整備、車体整備ができる総合整備士として、倫理観や責任感を持ち、社会人として規律ある行動がとれる。また、組織活動においては、チームワークを意識した誠実で協調性のある行動がとれる。

(5) 技能・表現

車体整備士として必要な「ものづくり」に関する技術及び自動車整備士として必要な自動車整備技術（点検・整備・故障診断）を有し、それらを安全に実践できる。また、組織や顧客対応に必要なコミュニケーション能力を身につけている。

I-6. 自動車車体整備科の卒業認定に関する方針

学校で定めた卒業認定の要件を受けて、自動車車体整備科が示す以下の知識及び能力を有する者に対して卒業を認定する。

(1) 知識・理解

自動車の基本性能（走る・曲がる・止まる）に関する専門知識に加え、車体整備に関する専門知識を習得し、それらを自動車の点検・整備・故障診断及び車体整備などに活用することができる。

(2) 思考・判断

自動車の基本性能を踏まえ、安全に配慮し、論理的な思考により適切な判断ができる。また、PDCA サイクルのプロセスに沿った効率の良い適切な状況判断ができる。

(3) 関心・意欲

自動車テクノロジーの進歩と社会ニーズの変化に常に関心を持ち、新しい知識・技術の習得にチャレンジするなど、向上心を持って意欲的、主体的に行動することができる。

(4) 態度

自動車整備、車体整備ができる総合整備士として、倫理観や責任感を持ち、社会人として規律ある行動がとれる。また、組織活動においては、チームワークを意識した誠実で協調性のある行動がとれる。

(5) 技能・表現

車体整備士として必要な「ものづくり」に関する技術及び自動車整備士として必要な自動車整備技術（点検・整備・故障診断）を有し、それらを安全に実践できる。また、組織や顧客対応に必要なコミュニケーション能力を身につけている。